

2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社ビューティカダンホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舛田正一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 三島まりこ (TEL) 096-370-0004
 四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第3四半期の連結業績(2023年7月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	5,416	9.9	90	31.6	101	28.6	47	△1.2
2023年6月期第3四半期	4,929	11.7	68	17.4	79	△2.8	48	1.4

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 47百万円(△3.5%) 2023年6月期第3四半期 49百万円(△3.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	11.73	—
2023年6月期第3四半期	11.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	2,787	565	20.3
2023年6月期	2,642	545	22.2

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 565百万円 2023年6月期 545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	—	—	13.58	13.58

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	6,600	2.9	150	20.6	150	11.0	110	23.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期3Q	5,076,000株	2023年6月期	5,076,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期3Q	1,018,652株	2023年6月期	1,026,552株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期3Q	4,054,073株	2023年6月期3Q	4,049,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年7月1日～2024年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染対策による経済活動の制限の緩和により、景気は緩やかに持ち直しの傾向がみられました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化、エネルギー価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇等など景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは最終年度を迎えた中期経営計画に掲げる「既存事業の収益性改善と新規事業の創出により持続的な成長を実現し、企業価値向上・株価上昇へつなげる」ことを基本方針として「コア事業での売上拡大」「事業基盤強化」「新サービス開始・新規事業の拡大」「企業価値向上」を重点戦略とし取り組んでおります。

これと合わせ、更なる業容拡大と上述の事業基盤強化を図るべく、グループ各社の連携・経営責任の明確化・次世代経営人材の育成等目的とした持株会社化の検討・準備を進め、2024年1月1日付での移行を実施いたしました。

この結果、各事業ともに引き続きコロナ禍から総じて回復基調にあったことや生花卸売事業において販売単価が上昇したこと等から、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、5,416,840千円(前年同期比9.9%増)、営業利益は90,400千円(前年同期比31.6%増)、経常利益は101,828千円(前年同期比28.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は47,538千円(前年同期比1.2%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、2,944,688千円(前年同期比11.5%増)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2023年7月から2024年2月までの取扱件数は微減、売上高は微増傾向で推移し、葬儀単価はやや上昇しました。

このように葬儀業全体では市場は今後も拡大傾向にある一方で、全国的に進む「家族葬」や「密葬」、「一日葬」等葬儀の小型化による単価の下落傾向等の対応が求められる状況となっております。

このような状況の中で、当事業では中期経営計画に基づく戦略の実行と葬儀の縮小傾向に対応した新たなサービス展開や新商品販売を実施してまいりました。その結果、営業利益は271,530千円(前年同期比18.6%増)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っておりますが、当期間におきましては販売数量の増加や円安、夏場の高温を受けた生育不良等による供給不足が影響し販売単価が上昇したことにより、売上高は1,818,713千円(前年同期比7.9%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2024年3月)によると、2023年7月から2024年3月までの切花累計の取扱金額は48,344百万円(前年同期比2.6%減)、数量では577百万本(前年同期比3.2%減)と金額ベース、数量ベースともに減少しました。

このような状況の中で、当事業では引き続き生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みを実行しつつ、合わせて販売価格への転嫁や取扱品目の精査、販管費効率化等を実施し、期の中盤では増益であったものの後半では原価高騰の影響を受け、その結果、営業利益は35,883千円(前年同期比4.2%減)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、期の中盤まではコロナ禍からの反動増の影響が大きかった前年同期比では横ばいとなりましたが、後半からは回復傾向にあり266,739千円(前年同期比11.0%増)となりました。

少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウエディングやレストラン・ウエディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、これまでは大きな市場規模が保持されておりましたが、コロナ禍の影響を受け同市場規模は大幅に縮小し、その後回復基調で推移しており

ます。

このような状況の中、同事業では、関西・九州エリアにおける既存顧客・エリアへの深掘による受注増、同エリアでの新規取引先拡大、リテール部門の売上拡大・利益率改善に取り組んでまいりました。その結果、営業利益は3,997千円(前年同期比185.6%増)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、各事業とも総じて堅調に推移したことから、売上高は386,699千円(前年同期比6.9%増)となりました。利益面におきましては前述の売上の増加にともない、前期比では増益となったことにより営業損失は2,646千円(前年同期は3,447千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ325,534千円増加し、2,787,624千円となりました。これは主に現金及び預金、売掛金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ305,913千円増加し、2,222,547千円となりました。これは主に、買掛金、借入金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ19,620千円増加し、565,077千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の通期の業績予想につきましては、2023年8月14日に公表いたしました連結業績予想から、現時点においては変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	954,898	1,082,632
売掛金	538,807	688,868
商品	37,132	33,299
仕掛品	2,064	8,716
原材料及び貯蔵品	36,478	37,876
その他	60,731	76,438
貸倒引当金	△3,490	△7,412
流動資産合計	1,626,621	1,920,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	656,264	657,547
減価償却累計額	△335,428	△333,763
建物及び構築物 (純額)	320,836	323,784
車両運搬具	20,853	33,456
減価償却累計額	△20,255	△19,520
車両運搬具 (純額)	598	13,935
工具、器具及び備品	151,199	155,646
減価償却累計額	△140,545	△144,218
工具、器具及び備品 (純額)	10,653	11,428
土地	221,424	221,424
建設仮勘定	282	-
その他	15,969	15,902
減価償却累計額	△12,385	△12,870
その他 (純額)	3,583	3,032
有形固定資産合計	557,378	573,603
無形固定資産		
ソフトウェア	1,135	18,324
のれん	6,674	5,423
無形固定資産合計	7,809	23,747
投資その他の資産		
差入保証金	53,884	55,166
保険積立金	189,700	190,862
破産更生債権等	15,284	12,857
その他	23,354	23,825
貸倒引当金	△11,942	△12,857
投資その他の資産合計	270,280	269,854
固定資産合計	835,469	867,205
資産合計	2,462,090	2,787,624

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	181,462	266,960
短期借入金	350,000	470,000
1年内返済予定の長期借入金	173,729	188,309
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	82,913	84,904
未払法人税等	27,344	36,526
未払費用	119,543	85,821
賞与引当金	851	33,191
資産除去債務	10,000	10,000
その他	93,982	110,337
流動負債合計	1,059,826	1,306,051
固定負債		
社債	80,000	60,000
長期借入金	683,448	749,927
リース債務	73	23,684
退職給付に係る負債	76,013	65,934
資産除去債務	17,272	16,949
固定負債合計	856,806	916,495
負債合計	1,916,633	2,222,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	144,268	152,407
利益剰余金	416,560	426,233
自己株式	△228,633	△226,874
株主資本合計	545,434	565,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22	71
その他の包括利益累計額合計	22	71
純資産合計	545,456	565,077
負債純資産合計	2,462,090	2,787,624

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	4,929,151	5,416,840
売上原価	4,260,293	4,658,940
売上総利益	668,857	757,899
販売費及び一般管理費	600,140	667,499
営業利益	68,717	90,400
営業外収益		
受取利息及び配当金	21	38
為替差益	-	4,336
受取賃貸料	1,072	1,126
補助金収入	15,235	9,616
その他	5,700	9,709
営業外収益合計	22,030	24,827
営業外費用		
支払利息	6,935	8,322
為替差損	1,532	-
その他	3,058	5,076
営業外費用合計	11,527	13,399
経常利益	79,220	101,828
特別利益		
固定資産売却益	48	751
投資有価証券売却益	20	-
特別利益合計	68	751
特別損失		
リース解約損	1,295	102
特別損失合計	1,295	102
税金等調整前四半期純利益	77,993	102,476
法人税、住民税及び事業税	31,182	54,938
法人税等還付税額	△2,545	-
法人税等調整額	0	△0
法人税等合計	28,637	54,938
四半期純利益	49,355	47,538
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,260	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,095	47,538

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	49,355	47,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	49
その他の包括利益合計	19	49
四半期包括利益	49,374	47,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,114	47,587
非支配株主に係る四半期包括利益	1,260	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年9月28日 定時株主総会	普通株式	34,541	8.53	2022年6月30日	2022年9月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年9月27日 定時株主総会	普通株式	36,445	9.00	2023年6月30日	2023年9月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が5月31日であった、株式会社ビューティ花壇西日本(旧社名 株式会社OneFlower)については同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、同社が決算日を6月30日に変更したことに伴い、当第3四半期連結累計期間は2023年6月1日から2024年3月31日までの10か月間を連結しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	2,641,581	1,685,645	240,245	4,567,473	361,678	—	4,929,151
外部顧客への売上高	2,641,581	1,685,645	240,245	4,567,473	361,678	—	4,929,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,878	805,494	1,154	812,527	39,877	△852,405	—
計	2,647,459	2,491,140	241,400	5,380,000	401,556	△852,405	4,929,151
セグメント利益又は損 失(△)	228,882	37,462	1,399	267,744	△3,447	△195,579	68,717

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△195,579千円には、セグメント間取引消去44,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△239,980千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	2,944,688	1,818,713	266,739	5,030,140	386,699	—	5,416,840
外部顧客への売上高	2,944,688	1,818,713	266,739	5,030,140	386,699	—	5,416,840
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,860	797,436	1,464	805,761	24,507	△830,269	—
計	2,951,548	2,616,149	268,204	5,835,902	411,206	△830,269	5,416,840
セグメント利益又は損 失(△)	271,530	35,883	3,997	311,411	△2,646	△218,364	90,400

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△218,364千円には、セグメント間取引消去31,040千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△249,404千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載の通りであります。